

金融機関職員や自治体職員等を名乗った

ウイルス感染やシステムエラーを装った

「なりすまし詐欺」・「サポート詐欺」にご注意ください!

金融機関職員や自治体職員等を名乗った「なりすまし詐欺」やパソコンへのウイルス感染やシステムエラーを装った「サポート詐欺」の被害が急増しています。詐欺被害にあわないために、以下の点にご注意ください。



なりすまし詐欺



犯行の手口

犯人は金融機関や自治体職員等を名乗って電話をかけ、言葉巧みにIDやパスワードを聞き出そうとします。また、「××××から電話をさせる」と言って、別の犯人が電話をかけてくる場合もあります。

犯人は、自分のパソコンやスマートフォンを使い、聞き出したID、パスワードでインターネットバンキングにログインし不正送金を行います。その際に、メールによる通知で不正送金が発覚されないように、メールアドレスを変更する場合もあります。

被害にあわないために

電話がかかってきて、IDやパスワードを聞き出そうとするのは詐欺だと疑い、家族や警察に連絡してください。



サポート詐欺



犯行の手口

パソコンの画面に「ウイルスに感染した」「システムエラーが発生した」等のメッセージが表示され、そこに記載されている番号に電話するよう指示されます。

連絡するとウイルス除去費用やシステム対応費用が必要であると言って信じさせ、遠隔操作ソフトをインストールさせて、盗み取ったID、パスワードで不正送金を行います。

被害にあわないために

メッセージで表示された番号に電話をかけないでください。ID、パスワード等の大切な情報は他人に伝えないでください。ソフトのインストールはさせないでください。